

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学方法論Ⅱ (健康危機管理・公衆衛生看護管理)	4年次 前期	必修	講義	1単位(30時間)	篠田 浩子 ※
授 業 概 要					
公衆衛生看護の場で、地域住民のより良い健康と生活・健康危機回避に向け、人・物・予算・情報・組織等がどのように管理・運営されているか、併せて専門職としての力量を高めるための人材育成の仕組みや方法について学ぶ。また、大規模な蔓延が懸念される感染症や頻発する災害等健康危機の未然防止、発生時から回復期の対応について学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 公衆衛生看護活動における管理的な活動の目的、特徴を述べる。 2. 公衆衛生看護活動における管理的な機能について述べる。 3. 健康危機を未然に防ぐための平常時の備えを理解する。 4. 健康危機の発生時から回復期における対応を理解する。					
実務経験のある教員					
篠田 浩子：市町村での現場経験を踏まえて、公衆衛生看護における管理的な活動や機能について概説する。また、健康危機管理の基本、健康危機の事前、発生時、回復期の対応について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-4	1. 公衆衛生看護管理 1) 公衆衛生看護管理の目的、特徴 2) 公衆衛生看護管理の基本となるもの (地域保健活動の方向づけ、住民の権利保障、職業倫理とジレンマ等) 3) 公衆衛生看護管理の機能 4) 継続教育と専門的自律 (キャリアラダー、現任教育、自己開発)				篠田 浩子※
5	5) 公衆衛生看護管理の実際				
6-10	2. 健康危機管理 1) 健康危機管理の基本 (定義・目的・保健所の役割と対象とする健康危機、リスクマネジメント) 2) 健康危機の平常時、発生時、回復期の対応 ① 個人の危機（虐待等） ② 感染症集団発生（結核、新型インフルエンザ/COVID-19等） ③ 自然災害（種類、法律、制度、災害フェーズ）				
11	3) 災害保健の実際				
12-15	4) 健康危機管理演習：① リスクコミュニケーション ② 感染症集団発生				
学 習 方 法					
講義 グループワーク 演習					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験 80点 演習 20点					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 公衆衛生看護学 jP 荒賀直子 インターメディカル 〔参考書〕 標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 標美奈子 医学書院 最新保健学講座 公衆衛生看護管理論 平野かよ子 メジカルフレンド社					